

# 目指す薬剤師は、薬剤部の枠を超えて 患者さんの医療に寄与できる薬剤師



Profile

島ノ江 千里

佐賀大学医学部附属病院 教授/薬剤部長/病院長特別補佐

薬局薬剤師から予防医学の研究者へ、さらに佐賀大学臨床研究センターの改組にも関わった佐賀大学医学部附属病院 教授/薬剤部長/病院長特別補佐である島ノ江千里氏に、病院薬剤部の運営に対する思いや病院薬剤師として大切にしていることについて話を伺った。

## 薬局薬剤師から 病院薬剤師へ

保険薬局に勤務していた中、病院薬剤師とのつながりが深まったのは、基幹病院の院外処方一斉切り替えでした。当時の調剤薬局の多くは院外処方箋による調剤のノウハウもなかったことから、基幹病院の先生方と薬局薬剤師が中心となってガイドラインを作成しました。また、地域医療に携わっているうちに予防医学に興味を持ち、佐賀大学で疫学統計を学び、社会医学講座の教員として疫学研究を行ってきました。

その後、佐賀大学で臨床研究センターの組織を改編することになり、基礎から再び臨床の場に戻りました。臨床研究センターの使命は、患者さんのために今ある医療を評価するとともにこれからの医療を作っていくことです。ここで多くの診療科の先生に研究の相談を受け、若手医師に向けて臨床研究のデザインや実施方法を指導した後、薬剤部の教授として着任しました。薬剤部に赴任したときに、働きやすい環境を作ること、薬剤部という組織を皆で育てていくことを目標としました。

「どのような病院薬剤師を目指すべきか」と考えると、**トップダウンではなく、皆がリーダーシップを**「どのような病院薬剤師を目指すべきか」と考えると、

多様な価値観も重要であり一概には言えません。患者さんのためのよりよい医療を目指すときに必要な自身のスキルの向上だけではなく、どんなスキルの人と一緒に仕事をすればいいかという視点で、そのリソースを調整する力が重要だと思っています。

自分一人で行えることは限られていますが、自分がやりたいことを実現するために薬剤部という組織をどんなに活用して欲しいと思いますし、やりたいことを実現してもらうために、裁量権を持つ責任者は積極的にそのサポートに動くべきだと思っています。いわゆるトップダウンではなく、一人一人がリーダーシップを持って目標に向かって行動してほしいです。

## チーム制で一人一人が 能動的に動けるように

当院の薬剤部はチーム制とシフト制の2つを組み合わせて運営されています。シフト制はこの業務もできるジェネラリストとして成長が期待できる一方で、業務改革/改善の視点が欠けてしまい、トップダウンに頼りがちになってしまいます。当薬剤部のチーム制は4部門に分かれていて、それぞれの部門で方向性を決定し、内部の問題にどう対応していくか一人一人が能動的に動けるようにしています。

この流れから目に見える変化として現れたのが薬剤部のホームページです。薬剤部のホームページは、スタッフが一緒に働きたい人に向けて自分たちが伝えたいことを発信しており、就職希望者が知りたい離職率、産休・育休復帰率といった情報や働き始めからの職場に関する印象などを掲載しています。

薬剤部はスタッフがいきいきと働いていていいね、と病院長にも言われます。実務において診療科との難しい調整が必要な局面もあるのですが、患者さんのためという点で一致している限りは乗り越えられるものだと感じています。当院の場合、医師の方々も協力的で、それは臨床研究センターの頃から感じている大学の全体のカラーですね。

## 薬剤部のチームワーク で目指すもの

医学部の医療入門の講義では、よく「引き出しの多い医療人」を目指してほしいと話していました。患者さんが困っていることについて自分のみで対応するのではなく、どんな手段があっても、どこにリソースがあるかを知っていきたくありません。能力やスキルのある人、あるいは組織を活用しながら、患者さんの医療に寄与できる薬剤師を目指して欲しいと思います。また、「尊敬」「信頼」

「協力」に基づくチームワークにより、薬剤部のスタッフ一人一人が課題と困難を乗り越えていく「調整力とサバイバル能力」をもつ人になれる組織作りを目指しています。



<略歴>

- 1988年 4月 ワイエスメディカルサプライ
- 1991年 4月 ふたば薬局
- 2014年 4月 佐賀大学医学部 社会医学講座 予防医学分野 助教
- 2015年11月 肥前精神医療センター 臨床研究部 客員研究員
- 2018年 6月 佐賀大学医学部附属病院 臨床研究センター 特任准教授/副センター長
- 2020年10月 佐賀大学医学部附属病院 教授/薬剤部長
- 2021年 6月 佐賀県病院薬剤師会 会長
- 2022年 4月 佐賀大学医学部附属病院 病院長特別補佐 (兼務)